



2012～2013 年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日/毎週火曜日 12:30 例会場/豊川商工会議所

会長/高桑 耐 幹事/大木健市 会報委員長/池田 弘

事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889

HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ: ENJOY ROTARY 絆、みんな仲良く、クラブの未来へ

本年度第28回 通算1282回 平成25年1月22日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	1/8 修正出席率
		58名	37名	71.2%	92.5%

ゲスト: 豊川市教育長 花井正文さん ビジター: メーキャップ受付 20名

★会長あいさつ

高桑 耐会長



アルジェリアの人質事件で、非常に残念な結果になっています。まだ安否確認の出来ない日本人の方も3名いらっしゃいます。宗教問題

もありますので、我々では考えられない事件ですが、これからもあり得る事件です。

今日は、本年度初めての新入会員の入会式です。今日は、あいにくの雨ですが、山本さんが主役の時には、やはり雨が降りますね(笑)。山本さんは雨男です。それから歌が非常に上手い方ですので、機会がありましたらご披露頂きたいと思います。

★幹事報告

大木健市幹事

例会臨時変更のお知らせ
前回の被災高校生支援募金の金額報告

★委員会報告

雑誌広報委員会(河本委員長)
ロータリーの友1月号の紹介

★新入会員の入会式

豊商(株)代表取締役社長 山本博史さん

◎新入会員の紹介

大沢茂樹会員

こんにちは。今年初めての
新入会員を紹介します。
もう一人の推薦



者は宮崎真一さんです。山本博史さんは、豊商株式会社の代表取締役社長で、会長のお父さんは、豊川クラブの山本学さんです。ゴルフでは、お父さんが上手で有名ですが、カラオケでは、こちらが上手で有名だと思います。皆さん、ぜひ仲良くお願いします。

◎バッジの贈呈



高桑会長からロータリーバッジが贈呈されました。

◎歓迎のことば

度会尚志副委員長

こんにちは。会員委員会の副委員長の度会です。夏目委員長は、本日欠席ですので、代わりに歓迎のことばを述べさせていただきます。



山本博史君とは、青年会議所の入会が同期です。小田君や林君も同期入会です。青年会議所には2年間所属されていたので、ロータリーク

ラブの活動も若干理解して頂いていると思います。クラブの皆さんと早く親しくなり、顔と名前がわかるようにして頂きたいと思います。ご入会おめでとうございます。

◎新入会員あいさつ 山本博史会員

初めまして、ご紹介を頂きました山本です。今日から、宮崎様と大沢様のご推薦を頂きまして、



豊川宝飯 RC にお世話になることになりました。JC は昭和 63 年に入会して 2 年半で、弊社の名古屋本部を立ち上げるために、平成元年 8 月から準備に入り、住まいも豊川から名古屋に移し、JC も 29 歳から 35 歳まで休会させて頂き、35 歳に JC を退会しました。JC の活動もあまりしていませんので、ロータリーの活動など色々ご指導をお願いします。

会社は、白鳥町の国道 1 号線沿いにあります豊商株式会社です。業種は、ステンレスを主とした鋼材の販売業をさせて頂いております。宮崎社長様はじめ、このクラブの会員の皆さんにもお世話になっている会社様もございます。

家族構成は、妻と子供が 4 人おります。同居はしておりませんが、親父が皆さんには大変にお世話になっております。

先ほど、高桑会長から雨男だと言われました。そして今日は仏滅です。ロータリークラブのしきたり等、全然わかりません。これから色々ご指導を頂き、雨を晴れに、仏滅を大安に出来るように頑張りたいと思っております。ロータリー精神で奉仕できるように日々精進して参ります。どうぞよろしく申し上げます。

★外部講師の卓話

講師の紹介

小田伊佐浩会員

こんにちは。本日の講師は、教育長の花井正文先生です。平成 16 年から豊川市教育長に就任されました。

本日は、昨今のニュースで話題になっているイジメや体罰の豊川市の状況についてお話をさせて頂きます。ご清聴よろしく申し上げます。

卓話

花井正文教育長

こんにちは。インフルエンザが流行っています。今週に入って小中学校で学級閉鎖のクラスが何校も出ています。



本来ならば、教育委員会として話をするなら、教育の未来や豊川の小中学校の子どもたちのこれからの教育方針についての前向きな話をしたいわけですが、昨年から話題になっているイジメや体罰についての事後処理のような話をさせて頂きます。

市においても、イジメは毎月毎月、学校からの報告を受けて調査をしています。その数は、ここ数年間 150~200 件です。この数が多いか少ないかは見方によりますが、子どもがイジメられたと言えれば 1 件になりますので、数としては多いですが、現状は深刻なものはないと考えています。子どもがいうことと、先生が見ているイジメだと判断すること、保護者から言われたことを全てカウントしています。ですので、毎年 150~200 件ぐらいあります。

体罰は、全く無いわけではありません。昨年 1 件指導をしました。授業中おとなしくしていない子供に対して、口で注意すると同時に定規で頭をポンと叩いたり、机から足を題しているの、その足を蹴ったりしたことを 1 回だけでなく、何回も繰り返したので指導をしました。

体罰やイジメの件数が全くないわけではありません。多くの方から、体罰やイジメの基準を決めた方が良いと言われます。イジメは文科省が定義を決めています。その定義が、一定の人間関係にある者から精神的、物理的に被害や攻撃を受けることによって苦痛を感じていること。これをイジメと定義しています。本人がそう感じればイジメとなるのです。体罰についても、子どもたちを注意するのに、これ以上の事をしてはいけないと一応の基準を学校教育法で決めています。校長や教員は、懲戒を加えることは出来るが体罰をすることはできないと決められています。懲戒というのは、殴るや叩くことは懲戒ではありません。正座を長時間続けさせるようなことも懲戒の範囲を逸脱しているで、体罰となります。ただ文科省は、放課後に教室に残留させることは体罰ではない

としています。授業中に教室に立たせることは体罰ではないとしています。廊下に立たせることは、授業に参加させないことになりますので、これは体罰になります。勉強や清掃活動を科すことは体罰ではない。ですので、体罰と懲戒の区別もきわどいところもあります。非常に難しいです。ですから裁判にもなっています。昭和の時代は地裁や高裁などで判断されていますが、平成21年には最高裁で判決が出ています。体罰かどうかを決めるのは非常に難しいです。

学校で色んなことがあった時に、学校では処理が難しいことが色々とあります。今は、教育委員会に指導主事が9名いるので、その指導主事を派遣して、物事の解決にあたらせています。イジメがあったと子どもが親に言うと、保護者が学校や教育委員会に苦情を言ってきます。保護者の言うだけでなくではわからないので、学校で校長や当事者を入れて話し合いをしても解決できない場合に指導主事が派遣されます。それぞれの話を聞いて最終的に解決に向けていきます。ある程度、教育委員会が積極的に動いて解決に向かわせるような方策を取っています。

教員の資質の問題もあります。子どもたちと先生との関係は、1年間の学校生活の中で色んな出来事があります。その時に教員の資質によって、子どもたちに与える影響は大きいのです。ですから、教員の研修も勤務年数によって様々な研修を行っています。松下政経塾的な感じの塾も作り、お互いに切磋琢磨していくと、授業が上手になり、学級運営が上手くなっていきます。教員は、授業力を向上させるが望まれるとともに、教室の中で子どもと共に成長していくものです。教員の研修は、時間を掛けて行っています。ご清聴ありがとうございました。

★ニコニコボックス

- 小田伊佐浩会員 本日の講師を紹介します
- 井指和昭会員 誕生日を祝って頂き
- 波多野四郎会員 //
- 来山健一会員 //
- 大岩一仁会員 //
- 大木悦子会員 結婚記念日を祝って頂き
- 大沢茂樹会員 //
- 鈴木啓仁会員 //
- 大木健市会員 //
- 永田恵照会員 入会記念日を祝って頂き
- 宮崎眞一会員 いろいろ祝って頂き

★新世代奉仕委員会事業報告

先日1月26日に、第8回一ほう子ども音楽祭が豊川市文化会館で開催されました。

当クラブは第2回目の開催から毎年助成している事業です。表彰式には高桑会長が出席をされ優秀な子どもさんに表彰状とトロフィーを贈呈しました。



クラブ目標：会員増強純増	3名
クラブ目標：R財団寄付額	\$100/人
現在の状況	
会員増強	純増1名
R財団寄付額	\$74/人

会報担当者：池田 弘会員、杉浦元保会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。